

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

	女子	Gコート 第1試合 (1回戦)					
	日時	平成27年2月14日					
	会場	県立大津高校体育館					
対戦結果	チーム名	得点	14	—	6	得点	チーム名
	佐賀東	56	18	—	10	54	鳳凰
			12	—	18		
			12	—	20		

チーム名						
佐賀東						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	佐藤 友香	14	1	4	3	1
5	松信 成美	8	0	3	2	1
6	釘本 佳奈	0	0	0	0	0
7	福田 歩菜	3	0	1	1	4
8	田代 理笑	0	0	0	0	0
9	谷口 花奈	0	0	0	0	0
10	上田 梨花子	0	0	0	0	0
11	庄島 千晶	22	0	9	4	5
12	江下 佳那	0	0	0	0	0
13	増田 愛	0	0	0	0	0
14	松永 知佳	4	0	1	2	2
15	緒方 美桜	0	0	0	0	0
16	松尾 香伽	0	0	0	0	0
17	古川 ほの花	5	1	1	0	0
18	塚原 楓	0	0	0	0	0
合計		56	2	19	12	13

チーム名						
鳳凰						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	上原 亜香里	21	3	6	0	2
5	鈴木 愛華	5	0	2	1	3
6	前田 華菜	11	1	4	0	1
7	庭月野 茜	5	1	1	0	4
8	古市 沙弥	0	0	0	0	0
9	船倉 真帆	0	0	0	0	0
10	永嶺 真美	2	0	1	0	0
11	下原 芽生	0	0	0	0	0
12	伊達 詩歩	7	0	3	1	3
13	黒木 奈々瀬	3	0	1	1	5
14	田原 星南	0	0	0	0	0
15	辨畑 侑佳	0	0	0	0	0
16	坂元 ひな	0	0	0	0	1
17	齊藤 優香	0	0	0	0	0
18						
合計		54	5	18	3	19

## ☆戦評

第1Q、両チーム共にハーフコートマンツーマンでスタート。先制点を決め、流れをつかみたいところだが、互いにトラベリングやパスミスが続きなかなか得点が決まらない。ようやく佐賀東⑪庄島のドライブインで得たフリースローで先制。その後はどちらもパスが回らず14-6佐賀東リードで第1Q終了。

第2Q、鳳凰⑥前田のスティールや3Pで連続ポイントを得るも、インサイドシュートが決まらず、点数が伸びない。対する佐賀東は⑪庄島のドライブで得点を重ねるも、ファールトラブルによりベンチに退く。そこから再び両チームともシュートの精度にかけ32-16佐賀東リードで第2Q終了。

第3Q、鳳凰はオールコートマンツーマンに変え④上原と⑥前田がスティールからの連続ポイントで点差を縮め、44-34で佐賀東リードで第3Q終了。

第4Q鳳凰のオールコートマンツーマンが機能し、一気に3点まで詰め寄る。しかし、佐賀東は残り2分で⑪庄島をコートに戻し、一気に突き放しにかかる。鳳凰はタイムアウトを取るが、流れは変わらない。終盤に佐賀東⑪庄島がファールアウト。そこから鳳凰④上原の3P⑬黒木のインサイドで同点に追いつくも、佐賀東④佐藤が落ちて着いてジャンプシュートを決め、2点差を守り56-54佐賀東が勝利した。

担当者( 深水梨沙 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

	女子	Hコート 第1試合 (1回戦)					
	日時	平成27年2月14日					
	会場	県立大津高校体育館					
対戦結果	チーム名	得点	11	—	13	得点	チーム名
	西原	58	17	—	16	70	東海大星翔
			15	—	24		
			15	—	17		

チーム名						
西原						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	棚原奏江	15	2	3	3	2
5	垣花 典美	0	0	0	0	0
6	久手堅 九乃	6	0	1	4	0
7	津波古 桃花	0	0	0	0	0
8	稲嶺 明莉	15	1	4	4	3
9	仲地 夏美	3	0	1	1	1
10	宮里 さら	2	0	1	0	3
11	城間 あずさ	0	0	0	0	0
12	宮城 紗羽	0	0	0	0	0
13	宮城 華の子	0	0	0	0	0
14	安里 美紗	0	0	0	0	0
15	長嶺 萌	17	3	4	0	1
16	内間 瑚	0	0	0	0	0
17	大城 茉唯	0	0	0	0	0
18	當銘 華蓮	0	0	0	0	0
合計		58	18	28	12	11

チーム名						
東海大星翔						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	志柿 麗亜菜	0	0	0	0	0
5	松岡 瑛子	16	0	7	2	4
6	松本 尚	15	3	2	2	1
7	江川 千紘	0	0	0	0	1
8	中井 紫菜乃	4	0	2	0	0
9	中井 理鼓	0	0	0	0	0
10	北川 仁菜	0	0	0	0	0
11	木下 昌淑	5	1	1	0	4
12	岡本 悠華	0	0	0	0	0
13	三井 優香	0	0	0	0	0
14	岩下 廣佳	0	0	0	0	0
15	高濱 楓	23	5	3	2	4
16	松野 璃々	7	0	2	3	3
17	笠原 京華	0	0	0	0	0
18	高田 あや	0	0	0	0	0
合計		70	9	17	9	17

## ☆戦評

両チームマンツーマンで堅い守りを見せる立ち上がり、激しいディフェンスから⑤松岡などの速攻で点を重ねる東海大星翔に対し西原は⑧稲嶺の好リードから⑮長嶺などで得点を重ね1Qは11-13東海大星翔2点リードで終了。

2Qも激しいディフェンスで前からプレッシャーをかける東海大星翔に対しミスが目立つ西原は11-19と点差を広げられタイムアウト。タイムアウト後、攻撃のリズムが良くなった西原は⑮長嶺、④棚原の3Pなどで得点を重ね残り4分同点に追い付く。その後両チーム一進一退の攻防。28-29東海大星翔1点リードで前半を終了。

後半も激しく守る東海大星翔に対して、楽なシュートを打てない西原は得点を重ねることができない。対する東海大星翔は⑪木下の3P、⑤松岡のインサイドで32-39と点差を広げる。タイムアウト後も勢いのある東海大星翔に対し西原はフリースローなどで得点を重ねるが点差は詰まらず43-53で3Qを終了。

東海大星翔ペースで始まった4Q、ペースを変えたい西原はゾーンプレスで前からプレッシャーをかけるが得点を伸ばすことができない。運動量の落ちない東海大星翔がそのまま押し切り58-70で勝利を収めた。

担当者( 谷村 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Gコート 第2試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	県立大津高校体育館						
対戦結果	チーム名	得点	11	—	18	得点	チーム名
	日章学園	48	11	—	14	60	大分豊府
			11	—	19		
			15	—	9		

チーム名						
日章学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	瀬尾 京子	12	0	4	4	4
5	日高 千賀	6	0	3		3
6	高津佐 詩織	2	0	1		2
7	馬場 沙耶香	0	0	0	0	0
8	児玉 楓	8	1	1	3	2
9	上籠 朋佳	0	0	0	0	0
10	渡邊 滯里	0	0	0	0	0
11	佐藤 未来	6	1	1	1	1
12	大峯 亜希穂	0	0	0	0	0
13	松口 彩夏	0	0	0	0	0
14	小川 みなみ	8	2	0	2	4
15	長友 有希乃	6	0	3	0	1
16	松浦 瑞紀	0	0	0	0	0
17	小渡 美苑	0	0	0	0	0
18	増田 樹	0	0	0	0	0
合計		48	4	13	10	17

チーム名						
大分豊府						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	清末 泉美	12	1	1	7	2
5	戸上 楓	16	0	4	8	4
6	大土井 美結	14	0	6	2	1
7	小野 望海	10	0	4	2	3
8	佐藤 亜美	6	0	2	2	1
9	後藤 圭耶	0	0	0	0	0
10	廣田 遥	2	0	1	0	1
11	森田 佳月	0	0	0	0	0
12	片山 ありさ	0	0	0	0	0
13						
14						
15						
16						
17						
18						
合計		60	1	18	21	12

## ☆戦評

第1Q立ち上がり、日章学園はターンオーバーからリズムがつかめず交代を繰り返しながら流れを作ろうとするが、大分豊府のインサイドへの攻撃に苦しみ10点差がつく。残り3分で日章学園は4番瀬尾の3Pを皮切りに連続得点で11-18で第1Qを終えた。第2Qは、日章学園は1-2-2ゾーンを仕掛ける。それが功を奏しリバウンドやパスカットからチャンスを作るが点に結びつかない。大分豊府は10点差を維持し続け22-32で前半は終了した。第3Qは、はじめ3分は大分豊府のマンツーマンに阻まれ、日章学園のターンオーバーが重なった。その間、大分豊府は5番戸上らが得点し、22-38となる。日章学園はタイムアウトで流れを変えようとするが、ターンオーバーからの速攻などで33-51と点差がついた。第4Q、はじめは日章学園のオールコートマンツーマンと思いつきの良いシュートで攻勢をかける。対する大分豊府は無理をせずインサイドを攻める。日章学園はファウルが重なる。両チーム激しいディフェンスの応酬で得点が伸びなかったが、ターンオーバーから大分豊府が2ゴールをあげ、日章学園は3回目のタイムアウトを使った。あきらめずに速い展開を仕掛けた日章学園であったが、48-60でゲームは決した。

担当者(木本敬也)

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Hコート 第2試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	県立大津高校体育館						
対戦結果	チーム名	得点	10	—	34	得点	チーム名
	佐世保北	56	13	—	19	80	東筑紫
			14	—	19		
			19	—	8		

チーム名						
佐世保北						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	鳩山 悠羽	23	0	11	1	1
5	橋本 可穂	0	0	0	0	0
6	松瀬 亜友子	0	0	0	0	0
7	塚本 知里	0	0	0	0	0
8	福田 夏美	0	0	0	0	0
9	松尾 朱莉	9	0	3	3	0
10	佐野 ゆみこ	0	0	0	0	0
11	白方 菜月	0	0	0	0	0
12	山田 茜	10	0	5	0	2
13	田中 見生子	0	0	0	0	0
14	岸川 恵実	0	0	0	0	0
15	今井 七海	4	0	2	0	0
16	篠崎 萌子	8	0	3	2	1
17	船津 志緒里	0	0	0	0	0
18	山口 成美	2	0	1	0	3
合計		56	0	25	6	7

チーム名						
東筑紫						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩本 桃香	9	1	3	0	0
5	吉田 ひろみ	0	0	0	0	0
6	桑原 結衣	6	0	3	0	0
7	高木 志歩	31	5	8	0	3
8	佐藤 藍可	11	0	5	1	3
9	久野 梨々香	2	0	1	0	3
10	山内 涼美	0	0	0	0	1
11	鴫田 琴乃	7	0	3	1	2
12	沼口 紗也	21	0	2	0	0
13	安武 莉咲	2	0	1	0	2
14	松本 彩花	2	0	1	0	2
15	高木 穂波	6	0	3	0	2
16	杉原 千晶	0	0	0	0	0
17	垣添 優香	0	0	0	0	0
18	片山 茜	0	0	0	0	0
合計		80	18	60	2	17

## ☆戦評

第1Q、互いにハーフコートマンツーマンでスタート。開始早々、東筑紫⑦高木の3Pで先制。対する佐世保北は⑨松尾を起点に④鳩山の速攻で得点するが、東筑紫の堅い守りを崩すことができない。東筑紫⑦高木の5連続得点など10-34東筑紫リードで第1Q終了。

第2Qに入っても東筑紫は粘り強いディフェンスから速攻で確実に加点し勢いは止まらない。たまたま佐世保北はタイムアウトをとり、3-2ゾーンディフェンスに変える。東筑紫のリズムが崩れたところで佐世保北④鳩山、⑨松尾がゴール下を押し込み反撃する。対する東筑紫もオールコートディフェンスでプレッシャーを強め佐世保北の反撃を阻止。東筑紫は⑫沼口、⑬安武を中心にハイポストにボールを集め得点し23-53で第2Q終了。

第3Q、佐世保北は3-2ゾーン、東筑紫はハーフコートマンツーマンでスタート。東筑紫はボールをまわし攻めのチャンスを図るが、佐世保北のプレッシャーが強く、前半入っていたシュートが決まらずなかなかリズムを掴めない。佐世保北は確実にディフェンスリバウンドをものにし、⑩篠崎のゴール下、④鳩山の速攻で加点し追い上げを図るが、東筑紫の④岩本、⑦高木に連続3Pを沈められ徐々に点差が開きだし37-72で第3Q終了。

第4Q、佐世保北は懸命にボールを追い回すがなかなか点に結びつかない。残り3分オールコートでプレッシャーをかけるも、東筑紫のトランジションの速さと確実なシュートで得点を重ね56-80で東筑紫が勝利を収めた。

担当者( 内田 貴子 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Gコート 第3試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	県立大津高校体育館						
対戦結果	チーム名	得点	27	—	18	得点	チーム名
	長崎西	95	26	—	22	69	宮崎商業
			19	—	11		
			23	—	18		

チーム名						
長崎西						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	濱口 友希	19	2	5	3	1
5	岩本 泉里	0	0	0	0	0
6	中山 玲	0	0	0	0	1
7	大曾 涼佳	0	0	0	0	0
8	清水 萌	6	0	2	2	0
9	水田 良実	0	0	0	0	0
10	三丸 琴実	0	0	0	0	0
11	片山 菜々	20	4	2	4	2
12	村里 優花	0	0	0	0	0
13	小関 あゆ	4	0	1	2	0
14	田添 栞南	20	0	8	4	4
15	田口 樹	13	0	5	3	3
16	津田 美怜	13	3	2	0	5
17	安部 冬実	0	0	0	0	0
18	久地浦 彩乃	0	0	0	0	0
合計		95	9	25	18	16

チーム名						
宮崎商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	圖師 明歩	6	2	0	0	4
5	津乗 萌々音	15	1	5	2	3
6	国部 明日香	8	0	4	0	2
7	前田 すず	18	0	4	10	4
8	橋口 絵梨	3	1	0	0	4
9	太田原 光	0	0	0	0	0
10	吉永 梨乃	0	0	0	0	0
11	城戸内 麻那	0	0	0	0	0
12	上森 邑聖	0	0	0	0	0
13	中野 弥咲	0	0	0	0	0
14	池田 真那海	17	4	2	1	2
15	関谷 菜々	0	0	0	0	0
16	杉田 あかね	0	0	0	0	0
17	那須 麻里菜	0	0	0	0	0
18	橋本 唯伽	2	0	1	0	0
合計		69	8	16	13	19

## ☆戦評

第1Q、お互いにオールコートでの激しいディフェンスでスタート。長崎西は⑭田添のバスケットカウント、対する宮崎商業は⑧橋口の3Pなどで得点を重ねる。長崎西はディフェンスで相手のミスを誘い、⑮田口の連続得点で16-7としたところで宮崎商業はたまたまタイムアウトを取る。その後はお互いに譲らず27-18長崎西リードで第1Q終了。

第2Q、宮崎商業は開始直後⑤津乗の連続得点で追いつけを図る。しかし、対する長崎西も⑪片山の力強いドライブや⑯津田の3Pで流れを渡さない。お互いファールが多い展開ながらも着実に加点し、終了間際宮崎商業⑩橋本の2Pが決まり、53-40長崎西リードで第2Q終了。

第3Q宮崎商業は前半に引き続きオールコートのゾーンプレス、長崎西はハーフコートマンツーマンでスタート。長崎西は⑥中山の2P、⑯津田の3Pで得点を伸ばす。宮崎商業は④圖師が3Pを決めるものの長崎西の厳しいディフェンスの前にいいシュートを打たせてもらえない。タイムアウトを取り修正を図るが、長崎西は3-2のゾーンディフェンスに変えるなどして流れを渡さず、72-51長崎西がリードを広げ第3Q終了。

第4Q、長崎西は④濱口の速攻などで着実に加点。追いつけたい宮崎商業は⑭池田、④圖師の連続3Pなどでねばりを見せるが、長崎西は終始堅いディフェンスで相手に流れを渡さず94-69で長崎西が勝利を収めた。

担当者( 吉永宏史 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Hコート 第3試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	県立大津高校体育館						
対戦結果	チーム名	得点	25	—	17	得点	チーム名
	西日本短大附	62	11	—	15	68	那覇
			11	—	18		
			15	—	18		

チーム名						
西日本短大附						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	大関 采	11	1	4	0	3
5	小林 永旺	28	5	5	3	0
6	重松 真央	8	0	4	0	2
7	岩井 芹奈	13	1	5	0	3
8	大坪 里杏	2	0	1	0	2
9	江頭 春樹	0	0	0	0	0
10	杉 亜佑美	0	0	0	0	0
11	仲 晃子	0	0	0	0	0
12	中村 実沙	0	0	0	0	0
13	安丸 彩	0	0	0	0	0
14	松延 優奈	0	0	0	0	0
15	杉 綾菜	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
合計		62	7	19	3	10

チーム名						
那覇						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	具志堅 茅乃	10	0	5	0	2
5	喜納 璃理華	12	0	5	2	4
6	中山 美可子	13	3	2	0	0
7	外間 瑞季	0	0	0	0	0
8	湧上 麻乃	16	0	6	4	1
9	諸見田 ひかり	10	0	5	0	3
10	高野 真由	0	0	0	0	0
11	喜屋武 桐子	0	0	0	0	0
12	山川 美紅	7	1	2	0	2
13	谷口 なぎさ	0	0	0	0	0
14						
15						
16						
17						
18						
合計		68	4	25	6	12

## ☆戦評

第1Q、両チーム共にハーフコートマンツーマンでスタート。那覇⑫山川の3Pシュートが決まると、西短附④大関も3Pで応戦。展開のはやい攻防の中、西短附⑤小林が連続で3Pやインターセプトで得点を重ね、勢いに乗る。那覇も⑧湧上がインサイドプレーで相手チームのファウルを誘うなどして25-17西短附リードで第1Q終了。第2Q、那覇がオールコートマンツーマンを織り交ぜ、⑨諸見田、⑥中島、⑧湧上の連続ポイントで2点差まで詰め寄るも西短附⑤小林がフリースローを決め36-32西短附がリードで第2Q終了。第3Q、那覇の堅い守りで西短附はインサイドのプレーが許されない。後半に入り、那覇④具志堅が積極的にリングへ向かい、逆転する。那覇が7点差まで差を広げると、西短附はタイムアウトで流れを止め、なんとか持ちこたえ47-50那覇リードで第3Q終了。第4Q、3点差を追う西短附はより強いディフェンスを仕掛ける。しかし、ファールトラブルでベンチに退いていた那覇⑤喜納がコートに戻り、④具志堅の冷静なゲームメイクで62-68で那覇が逃げ切り試合終了。

担当者( 深水梨沙 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Gコート 第4試合 (1回戦)					
日時	平成27年2月14日					
会場	県立大津高校体育館					
対戦結果	チーム名	得点	20	—	20	得点
	大分商業	77	23	—	19	75
			21	—	13	
			13	—	23	
					チーム名	大津

チーム名						
大分商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩屋 果歩	2	0	1	0	2
5	鈴木 凜花	24	6	2	2	2
6	塚崎 真由	16	1	5	3	1
7	渡海 恵梨佳	4	0	2	0	3
8	樋口 玲奈	0	0	0	0	0
9	石井 未来	0	0	0	0	0
10	溝江 樹	12	0	6	0	3
11	渡邊 茉紘	0	0	0	0	0
12	河野 美緒佳	19	3	3	4	3
13	三重野 舞	0	0	0	0	0
14	佐藤 愛梨	0	0	0	0	0
15	足立 穂佳	0	0	0	0	0
16	大平 夏海	0	0	0	0	0
17	金丸 莉子	0	0	0	0	0
18	廣瀬 琴乃	0	0	0	0	0
合計		77	30	38	9	13

チーム名						
大津						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	兵藤 真悠	31	9	16	6	5
5	田尻 美紅	9		4	1	5
6	金田 爽加	0	0	0	0	0
7	中島 采加	14	0	7	0	3
8	潘 智菜津	0	0	0	0	0
9	上瀧 百香	0	0	0	0	0
10	山村 滯	7	1	2	0	4
11	岩元 花菜子	0	0	0	0	0
12	植田 明依	9	1	3	0	1
13	岩下 真子	0	0	0	0	0
14	高崎 星香	0	0	0	0	0
15	後藤 早耶	0	0	0	0	0
16	服部 瑠華	0	0	0	0	0
17	高野 結衣	0	0	0	0	0
18	大賀 咲希	5	0	1	3	2
合計		75	15	50	10	20

## ☆戦評

第1Qは両チーム共に落ち着いた立ち上がりで早打ちせずにインサイドを意識した攻撃を展開している。両チーム共に残り5分で5ファウルとなり力が拮抗した印象を受ける。

第2Q、はじめ大分商業が3ゴール連取し、大津はミドルシュートで応戦する。大津4番がカットインからチャンスを作ると、大分商業も中外にバランスの取れた攻撃で得点する。大津の5ファウルから終了間際に点差がつき始めたが、大津が踏みとどまり43-39で前半終了。

第3Q、大津は4番がチャンスメイクに奔走、大分商業は6番、10番がリバウンドに多く絡みチャンスを広げた。徐々に点差は開き64-52となる。

第4Q、大分商業は大津のマッチアップゾーンにおされてリバウンドが取れず、流れが変わりつつあった。残り4分で3点差となるが、大分商業12番が奮起し3Pとカットインからのチャンスメイクで再び点が開く。しかし、大津も食い下がり、残り2分、フリースローで2点差となるが、大分商業12番の3Pにより77-72となった。そのまま終わるかと思われたが、大津12番が放ったシュートがブザービーターとなった。だが及ばず、77-75で大分商業が勝利した。

担当者( 木本敬也 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Hコート 第4試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	県立大津高校体育館						
対戦結果	チーム名	得点	20	—	21	得点	チーム名
	牛津	53	13	—	13	76	甲南
			9	—	18		
			11	—	24		

チーム名						
牛津						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	長森 芽衣	19	4	3	1	2
5	鵜池 里香	14	0	6	2	3
6	藤瀬 華澄	6	2	0	0	4
7	草野 鈴音	10	0	5	0	0
8	山下 祐莉南	4	0	2	0	3
9	松尾 育美	0	0	0	0	0
10	関 瑠菜	0	0	0	0	0
11	渡邊 玲奈	0	0	0	0	0
12	田中 未咲	0	0	0	0	0
13	古賀 優華	0	0	0	0	0
14	今泉 颯季	0	0	0	0	0
15	福田 菜美子	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
合計		53	6	16	3	12

チーム名						
甲南						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中江 真彩	13	1	5	0	1
5	今村 志帆乃	0	0	0	0	0
6	大原 愛莉	6	0	3	0	0
7	堂園 真歩	13	0	6	1	0
8	藤原 葉月	16	0	8	0	1
9	塚田 朱	5	0	2	1	0
10	畠田 萌花	0	0	0	0	0
11	下入ヶ山 有希	0	0	0	0	0
12	小山 凜佳	19	0	7	5	2
13	西元 彩	0	0	0	0	0
14	福森 由里菜	0	0	0	0	0
15	前田 夏也乃	0	0	0	0	0
16	有村 妃織	0	0	0	0	0
17	大角 早代	0	0	0	0	0
18	小山 潮莉	4	0	2	0	1
合計		76	1	33	7	5

## ☆戦評

両チームともにマンツーマンディフェンス。牛津④長森、甲南⑫小山の積極的な1on1で得点を奪い合う落ち着いた立ち上がり。1Q中盤、ファールが多い牛津はディフェンスが消極的になり甲南に得点を許す。しかし、牛津④長森、⑥藤瀬の3Pなどで応戦し20-21甲南1点リードで1Q終了。

2Q序盤は甲南ペース、⑦堂園⑫小山で得点を重ね点差を広げたが、牛津も⑤鵜池のインサイド、⑦草野の速攻などで得点を重ね試合をひっくり返す。2Q最後、甲南④中江の3Pで再び逆転し33-34甲南1点リードで前半終了。

3Q、牛津は⑥藤瀬の3Pなどで得点するが、甲南⑧藤原の連続得点などで徐々に点差を広げられる。3Q残り3分牛津はタイムアウトでペースを変えようとするが、甲南にオフェンスリバウンドを取られ得点を重ねられ42-52甲南10点リードで3Q終了。

4Qも足の止まらない甲南に対して、疲れの見える牛津は得点を奪えない。アウトサイドのシューの入りも悪くなった牛津に対して、甲南は代わって入った⑩小山なども積極的に攻撃しリードを広げ、53-76で甲南が勝利を収めた。

担当者( 谷村 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Gコート 第5試合 (2回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	県立大津高校体育館						
対戦結果	チーム名	得点	24	—	19	得点	チーム名
	佐賀東	77	18	—	13	70	東海星翔
			20	—	16		
			15	—	22		

チーム名						
佐賀東						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	佐藤 友香	19	1	7	2	1
5	松信 成美	39	0	15	9	0
6	釘本 佳奈	3	0	1	1	0
7	福田 歩菜	1	0	0	1	2
8	田代 理笑	0	0	0	0	0
9	谷口 花奈	0	0	0	0	0
10	上田 梨花子	0	0	0	0	0
11	庄島 千晶	13	0	4	5	1
12	江下 佳那	0	0	0	0	0
13	増田 愛	0	0	0	0	0
14	松永 知佳	0	0	0	0	3
15	緒方 美桜	0	0	0	0	0
16	松尾 香伽	0	0	0	0	0
17	古川 ほの花	2	0	1	0	3
18	塚原 楓	0	0	0	0	1
合計		77	3	56	18	11

チーム名						
東海星翔						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	志柿 麗亜菜	0	0	0	0	0
5	松岡 瑛子	27	0	11	5	2
6	松本 尚	6	2	0	0	2
7	江川 千紘	3	1	0	0	2
8	中井 紫菜乃	0	0	0	0	0
9	中井 理鼓	0	0	0	0	0
10	北川 仁菜	0	0	0	0	0
11	木下 昌淑	11	1	4	0	3
12	岡本 悠華	0	0	0	0	0
13	三井 優香	0	0	0	0	0
14	岩下 廣佳	15	1	5	2	4
15	高濱 楓	8	0	4	0	1
16	松野 璃々	0	0	0	0	0
17	笠原 京華	0	0	0	0	0
18	高田 あや	0	0	0	0	0
合計		70	15	48	7	17

## ☆戦評

第1Q佐賀東ハーフコートマンツーマン、星翔オールコートマンツーマンでスタート。佐賀東は④佐藤のドライブ、⑤松信のゴール下で得点。対する星翔は⑦中井の3P、⑤松岡のゴール下やドライブで反撃するが佐賀東の粘り強いディフェンスでリズムを掴めない。佐賀東は⑤松信にボールを集め確実に点を重ね24-19で第1Q終了。

第2Q星翔のディフェンスプレッシャーが強まり、⑤松岡のインターセプトから加点。すぐさま佐賀東はタイムアウト。このタイムアウトで選手は落ち着き、⑤松信のポストプレーを中心に得点を重ねる。中盤、星翔のプレッシャーに対し佐賀東のボール運びにミスがミスが目立ちだす。ここで波に乗りたい星翔だが、思うようにシュートが決まらず苦しい展開のまま42-32で第2Q終了。

第3Q佐賀東は④佐藤の安定したゲームメイクと⑤松信のゴール下で着実に点を取る。一方星翔の飛道具である3Pもリングに嫌われながらも⑤松岡の地道な反撃で食い下がろうとするが、リバウンドをものにし速い展開に持ち込む佐賀東が62-48とリードし第3Q終了。

第4Q、星翔が根気強くオールコートでプレッシャーをかけ続けたことで、じわじわと佐賀東の足が止まりミスが連発する。一進一退の攻防の中リバウンド争いで佐賀東④佐藤が負傷しベンチの下がる。チームの柱を失った佐賀東はボール運びに苦戦。星翔⑤の3P、ドライブ等で怒涛の追い上げをみせ71-67で佐賀東がタイムアウト。ここで佐賀東④佐藤がコートに戻り、ゴール下やリバウンドを制し77-70で逃げ切り勝利した。

担当者( 内田 貴子 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Hコート 第5試合 (2回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	県立大津高校体育館						
対戦結果	チーム名	得点	17	—	34	得点	チーム名
	大分豊府	75	11	—	23	95	東筑紫
			22	—	21		
			25	—	17		

チーム名						
大分豊府						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	清末 泉美	12	0	4	4	3
5	戸上 楓	10	0	5	0	0
6	大土井 美結	11	0	4	3	1
7	小野 望海	23	3	6	2	0
8	佐藤 亜美	19	0	9	1	3
9	後藤 圭耶	0	0	0	0	0
10	廣田 遥	0	0	0	0	0
11	森田 佳月	0	0	0	0	2
12	片山 ありさ	0	0	0	0	0
13						
14						
15						
16						
17						
18						
合計		75	3	28	10	9

チーム名						
東筑紫						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩本 桃香	11	1	4	0	4
5	吉田 ひろみ	2	0	1	0	1
6	桑原 結衣	16	0	8	0	4
7	高木 志歩	22	4	4	2	1
8	佐藤 藍可	20	0	9	2	1
9	久野 梨々香	4	0	2	0	1
10	山内 涼美	0	0	0	0	1
11	鴫田 琴乃	8	0	4	0	0
12	沼口 紗也	0	0	0	0	1
13	安武 莉咲	2	0	1	0	0
14	松本 彩花	4	0	2	0	0
15	高木 穂波	6	2	0	0	0
16	杉原 千晶	0	0	0	0	0
17	垣添 優香	0	0	0	0	0
18	片山 茜	0	0	0	0	0
合計		95	7	35	4	14

## ☆戦評

第1Q、大分豊府はオールコートマンツーマン、東筑紫はハーフコートマンツーマンでスタート。東筑紫⑦高木の3Pが見事に当たり、勢いに乗ってドライブインやアシストパスなど多彩なプレーで魅了するも、5分31秒を残してチームファールは5つとなる。しかし、大分豊府は東筑紫の激しいディフェンスを前にチャンスを生かせない。東筑紫⑧佐藤がスクリーンプレーで得点を重ね、17-34東筑紫リードで第1Q終了。

第2Q、東筑紫⑥桑原の素早いカットインや④岩本の3Pで一気に点差を引き離す。大分豊府はシュートの本数は少なくないが、精度を欠き、得点が思うように伸びない。28-57東筑紫リードで第2Q終了。

第3Q、大分豊府⑦小野のミドルシュートが決まりですが、東筑紫も中・外バランスよいシュートで一進一退の攻防が続く、50-78東筑紫リードで第3Q終了。

第4Q、序盤から大分豊府は立て続けに④清末、⑥大土井がフリースローのチャンスを得、正確に決める。④清末の果敢なドライブインや⑤戸上のインターセプトから⑧佐藤が得点するも、東筑紫⑭松本に連続得点を許すなど、大きな流れを引き寄せることができない。第3Q同様シーソーゲームが続く、75-95東筑紫がリードを保ったまま終了した。

担当者( 深水梨沙 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Hコート 第6試合 (2回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	県立大津高校体育館						
対戦結果	チーム名	得点	9	—	19	得点	チーム名
	長崎西	64	18	—	15	72	那覇
			15	—	21		
			22	—	17		

チーム名						
長崎西						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	濱口 友希	2	0	1	0	1
5	岩本 泉里	0	0	0	0	0
6	中山 玲	0	0	0	0	0
7	大曾 涼佳	0	0	0	0	0
8	清水 萌	2	0	1	0	0
9	水田 良実	0	0	0	0	0
10	三丸 琴実	0	0	0	0	0
11	片山 菜々	12	1	4	1	4
12	村里 優花	0	0	0	0	0
13	小関 あゆ	0	0	0	0	0
14	田添 葉南	12	0	3	6	4
15	田口 樹	20	0	10	0	1
16	津田 美怜	16	3	2	3	5
17	安部 冬実	0	0	0	0	0
18	久地浦 彩乃	0	0	0	0	0
合計		64	4	21	10	14

チーム名						
那覇						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	具志堅 茅乃	14	0	6	2	3
5	喜納 璃理華	9	0	3	3	0
6	中山 美可子	20	4	3	2	2
7	外間 瑞季	0	0	0	0	0
8	湧上 麻乃	2	0	1	0	2
9	諸見田 ひかり	7	1	1	2	2
10	高野 真由	0	0	0	0	0
11	喜屋武 桐子	0	0	0	0	0
12	山川 美紅	20	6	1	0	3
13	谷口 なぎさ	0	0	0	0	0
14						
15						
16						
17						
18						
合計		72	11	15	9	12

## ☆戦評

第1Q、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。共に出だしなかなかシュートが決まらない。那覇はディフェンスを頑張りパスカットから⑫山川の速攻、⑥中山のジャンプシュートなどの得点で流れをつかみ3-12としたところで長崎西がタイムアウトを取る。その後は長崎西がゾーンプレスで仕掛けるもイーブンの展開となり9-19那覇リードで第1Q終了。

第2Q、長崎西はゾーンプレスから3-2ゾーンで追い上げを図るが、那覇は⑫山川の3Pなどで得点を重ねる。対する長崎西も⑪片山の3P、⑮のリング下シュートで応戦。一進一退の攻防が続く。終盤、那覇のボール運びでのミスに乗じて長崎西が連続得点で追い上げを見せ、27-34那覇リードで第2Q終了。

第3Q、引き続き那覇はハーフコートマンツーマン、長崎西はゾーンプレスから3-2ゾーンでスタート。那覇は⑥中山の3P、④具志堅のパスカットからの速攻で得点するも、ボール運びでのミスが目立ち2点差まで差を詰められる。しかしここから那覇は高確率でシュートを連続で決め42-55那覇リードで第3Q終了。

第4Q、長崎西はゾーンプレスから相手のミスを誘い⑮田口、⑪片山の得点などで一時3点差まで詰め寄る。しかしその後は那覇も粘りを見せ長崎西の反撃も及ばず64-72で那覇が勝利を収めた。

担当者( 吉永宏史 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

Hコート 第6試合 (2回戦)							
日時	平成27年2月14日						
会場	県立大津高校体育館						
対戦結果	チーム名	得点	19	—	17	得点	チーム名
	大分商業	92	21	—	22	73	甲南
			24	—	13		
			28	—	21		

チーム名						
大分商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩屋 果歩	11	0	4	3	4
5	鈴木 凜花	12	2	3	0	0
6	塚崎 真由	20	0	10	0	2
7	渡海 恵梨佳	7	0	3	1	4
8	樋口 玲奈	0	0	0	0	1
9	石井 未来	0	0	0	0	0
10	溝江 樹	16	0	8	0	2
11	渡邊 茉紘	2	0	1	0	1
12	河野 美緒佳	16	0	5	6	3
13	三重野 舞	5	0	2	1	0
14	佐藤 愛梨	3	1	0	0	0
15	足立 穂佳	0	0	0	0	0
16	大平 夏海	0	0	0	0	0
17	金丸 莉子	0	0	0	0	0
18	廣瀬 琴乃	0	0	0	0	0
合計		92	3	36	11	17

チーム名						
甲南						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中江 真彩	16	2	5	0	3
5	今村 志帆乃	0	0	0	0	0
6	大原 愛莉	2	0	1	0	1
7	堂園 真歩	6	0	2	2	2
8	藤原 葉月	2	0	1	0	1
9	塚田 朱	8	0	4	0	1
10	畠田 萌花	0	0	0	0	1
11	下入ヶ山 有希	0	0	0	0	0
12	小山 凜佳	18	0	8	2	3
13	西元 彩	0	0	0	0	0
14	福森 由里菜	0	0	0	0	0
15	前田 夏也乃	0	0	0	0	0
16	有村 妃織	0	0	0	0	0
17	大角 早代	0	0	0	0	0
18	小山 潮莉	21	0	8	5	3
合計		73	2	29	9	15

## ☆戦評

1Q序盤、甲南は積極的に外からのシュートを狙うが、確率が悪い。対する大分商業はディフェンスリバウンドから⑩溝江の連続得点、⑫河野の速攻などでペースをつかむ。甲南も中盤、④中江、⑱小山のアウトサイドシュートが入りだし差を縮める。速攻で点を重ねる大分商業に対しアウトサイドで得点する甲南、19-17大分商業2点リードで1Q終了。

2Qもミスを誘い、速攻で攻める大分商業のペース、甲南も⑫小山、⑱小山のドライブインなどで得点を重ね一進一退の攻防。お互い一步も引かず40-39大分商業1点リードで前半終了。

3Q、前からプレッシャーをかける大分商業に対し、丁寧にボールを運ぶ甲南だったが、ミスが続き48-52とリードされたところでタイムアウト。タイムアウト後甲南は、ゾーンに切り替えるが流れは変わらず64-52大分商業に大きくリードされる。

4Qも大分商業の厳しいディフェンスにリズムに乗れない甲南はなかなか得点できない。自分たちのペースで終始試合を進めた大分商業が92-73と点差を広げて勝利を収めた。

担当者( 谷村 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Eコート 第1試合 (準決勝)						
日時	平成27年2月15日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	14	—	19	得点	チーム名
	佐賀東	49	10	—	17	74	東筑紫学園
			13	—	20		
			12	—	18		

チーム名						
佐賀東						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	佐藤 友香	5	1	1		3
5	松信 成美	23	2	7	3	
6	釘本 佳奈					
7	福田 歩菜	2		1		2
8	田代 理笑					
9	谷口 花奈					
10	上田 梨花子					
11	庄島 千晶	10	1	1	5	
12	江下 佳那					
13	増田 愛					
14	松永 知佳	6		2	2	4
15	緒方 美桜					
16	松尾 香伽					
17	古川 ほの花	3	1			1
18	塚原 楓					
合計		49	5	12	10	10

チーム名						
東筑紫学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩本 桃香	7	1	2		1
5	吉田 ひろみ	2		1		2
6	桑原 結衣	17		7	3	
7	高木 志歩	26	4	7		3
8	佐藤 藍可	6		3		2
9	久野 梨々香					
10	山内 涼美					
11	鴫田 琴乃	4		2		2
12	沼口 紗也	2		1		
13	安武 莉咲					1
14	松本 彩花	4		2		1
15	高木 穂波	6	2			
16	杉原 千晶					
17	垣添 優香					
18	片山 茜					
合計		74	7	25	3	12

## ☆戦評

第1Q、東筑紫は④岩本、⑦高木を中心に、一方佐賀東は⑤松信、⑪庄島の3Pなどで加点する。残り2分で、東筑紫の⑦高木の3P2本を含めた3連続ゴールが決まり、5点差まで点差を広げる。結局、19-14、東筑紫リードで第1Q終了。第2Q、序盤は一進一退であったが、中盤から東筑紫のDFに佐賀東が苦戦し始める。対する東筑紫は、⑥桑原、⑦高木のゴールで着実に加点する。また速攻が決まりだし、さらにリバウンドで上回った東筑紫が徐々に点差を広げ、36-24、東筑紫リードで第2Q終了。

第3Q、序盤2分は両チームともシュートが入らず膠着状態。その後、得点が動き始めるが、第2Q同様、東筑紫のDFに佐賀東が苦戦し得点がなかなか伸びない。残り2分、佐賀東が、④佐藤の速攻や、⑤松信のインサイド、ミドルシュートで反撃に出るが、直後、東筑紫も⑮高木の3Pを含めた4連続ゴールですぐに反撃する。結局、56-37、東筑紫リードで第3Q終了。第4Q、東筑紫④岩本の3Pで始まる。疲れの見え始めた佐賀東はシュートの確率も落ち、点数を伸ばすことができない。一方、東筑紫は、⑪鴫田のゴール、⑮高木の3Pなどで随所に得点し、終始佐賀東を圧倒しゲームを進める。ゲーム全体を通して、徐々に点数差を広げていった東筑紫が74-49で、勝利を収めた。

担当者( 佃 隆樹 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Fコート 第1試合 (準決勝)						
日時	平成27年2月15日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	17	—	21	得点	チーム名
	那覇	80	22	—	14	69	大分商業
			27	—	12		
			14	—	22		

チーム名						
那覇						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	具志堅 茅乃	25	3	6	4	3
5	喜納 璃理華	24	0	10	4	0
6	中山 美可子	2	0	1	0	2
7	外間 瑞季	0	0	0	0	0
8	湧上 麻乃	7	1	2	0	3
9	諸見田 ひかり	13	2	3	1	0
10	高野 真由	0	0	0	0	0
11	喜屋武 桐子	0	0	0	0	0
12	山川 美紅	9	1	3	0	2
13	谷口 なぎさ	0	0	0	0	0
14						
15						
16						
17						
18						
合計		80	21	50	9	10

チーム名						
大分商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩屋 果歩	1	0	0	1	2
5	鈴木 凜花	10	2	2	0	1
6	塚崎 真由	7	0	3	1	0
7	渡海 恵梨佳	10	2	1	2	0
8	樋口 玲奈	3	1	0	0	0
9	石井 未来	0	0	0	0	0
10	溝江 樹	16	1	6	1	1
11	渡邊 茉紘	0	0	0	0	1
12	河野 美緒佳	22	2	8	0	1
13	三重野 舞	0	0	0	0	1
14	佐藤 愛梨	0				
15	足立 穂佳	0				
16	大平 夏海	0				
17	金丸 莉子	0				
18	廣瀬 琴乃	0				
合計		69	24	40	5	7

## ☆戦評

両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。序盤、那覇は④具志堅の3P、⑫山川のファーストブレイク、3Pなど連続7得点で流れをつかみ10-2とリードする。しかし、大分商業も⑦渡海の3P、ドライブインや⑫河野の得点などで盛り返し、21-17と逆転して1Qを終える。2Qに入ると、那覇も⑨諸見田の3P、ドライブイン、⑤喜納のインサイドなどで逆転するも、大分商業は⑫河野を中心に得点し、互いに譲らず39-35で那覇がややリードし折り返す。

3Qに入ると大分商業はターンオーバーを重ね、その間に④具志堅の3P、⑥中山のファーストブレイクなどで7連続得点し先手を取る。結局、3Qだけで9ターンオーバーを喫した大分商業を那覇が引き離し、66-47とリードする。4Qに入ると、大分商業はオールコートで積極的なディフェンスを仕掛けるも、効果的には決まらず互いに点を取り合う展開となる。大分商業のアウトサイドシュートが決まるものの、連続得点することができず、那覇も⑤喜納の得点などで突き放す。大分商業は速攻からの得点を狙うが、シュートの確立が悪く効率的に得点を伸ばすことができない。大分商業は⑫河野や⑤鈴木の3Pで追いつくも及ばず、80-69で那覇が勝利した。

担当者( 佐々 喬彦 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Fコート 第3試合 (シード決定戦)					
日時	平成27年2月15日					
会場	大津町総合体育館					
対戦結果	チーム名	得点	14	—	15	得点
	佐賀東	54	11	—	12	63
			7	—	20	
			22	—	16	
					チーム名	大分商業

チーム名						
佐賀東						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	佐藤 友香	14	1	4	3	1
5	松信 成美	18		8	2	1
6	釘本 佳奈					
7	福田 歩菜					5
8	田代 理笑					
9	谷口 花奈	2			2	1
10	上田 梨花子					1
11	庄島 千晶	20	1	7	3	3
12	江下 佳那					
13	増田 愛					
14	松永 知佳					4
15	緒方 美桜					
16	松尾 香伽					
17	古川 ほの花					
18	塚原 楓					1
<b>合計</b>		<b>54</b>	<b>2</b>	<b>19</b>	<b>10</b>	<b>17</b>

チーム名						
大分商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩屋 果歩	4		1	2	2
5	鈴木 凜花	4		2		4
6	塚崎 真由	7		3	1	1
7	渡海 恵梨佳	7	1	2		1
8	樋口 玲奈	2			2	
9	石井 未来					
10	溝江 樹	11		4	3	2
11	渡邊 茉紘	9		4	1	3
12	河野 美緒佳	5		2	1	3
13	三重野 舞	2		1		2
14	佐藤 愛梨	10	2	2		2
15	足立 穂佳	2		1		
16	大平 夏海					1
17	金丸 莉子					
18	廣瀬 琴乃					
<b>合計</b>		<b>63</b>	<b>3</b>	<b>22</b>	<b>10</b>	<b>21</b>

## ☆戦評

第1Q、大分商業は⑦渡海の3Pや⑥塚崎、⑪渡邊のゴールで着実に加点する。一方、佐賀東は、④佐藤、⑪庄島のゴールでそれに応戦する。一進一退を繰り返し、15-14、大分商業リードで第1Q終了。第2Q、序盤、佐賀東は⑦福田、⑪庄島の3P、⑤松信の3連続ゴールで21-15とリードする。なかなかシュートが入らない大分商業は、開始5分ようやく⑪渡邊のシュートで加点する。その後、OFのリズムを取り戻し、残り2分、⑩溝江のミドルシュートで同点に追いつく。さらに終了間際、⑪渡邊のミドルシュートが決まり、逆転に成功する。27-25、大分商業リードで第2Q終了。

第3Q、開始2分は両チーム得点を上げれず膠着状態。その後、大分商業が立て続けにゴールを奪い、点差を7点に広げる。佐賀東も、すぐに⑤松信のインサイドプレイなどで反撃に応じる。中盤、大分商業がメンバー5人を入れ替え、ゾーンプレスをしかけたことで佐賀東はミスを連発する。その間、大分商業は連続ゴールで得点を伸ばす。結局、47-32、大分商業が点差を15点に広げ、第3Q終了。第4Q、序盤は一進一退であったが、中盤に大分商業のチームファウルが5回になると、佐賀東は相手のファウルを誘いフリースローを獲得し、得点を伸ばす。さらにオールコートマンツースで相手にプレッシャーをかける。佐賀東は、⑪庄島の2連続ゴールなどで最後までくらくらしたが、結局、大分商業が逃げ切り、63-54で勝利を収めた。

担当者( 佃 隆樹 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Eコート 第3試合 (決勝)					
日時	平成27年2月15日					
会場	大津町総合体育館					
対戦結果	チーム名	得点	12	—	22	得点
	東筑紫学園	76	18	—	9	65
			27	—	11	
			19	—	23	
					チーム名	那覇

チーム名						
東筑紫学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩本 桃香	15	3	2	2	2
5	吉田 ひろみ	4	1		1	
6	桑原 結衣	5		2	1	1
7	高木 志歩	22	2	7	2	1
8	佐藤 藍可	23		11	1	3
9	久野 梨々香	0				
10	山内 涼美	0				
11	鵜田 琴乃	4		2		1
12	沼口 紗也	0				
13	安武 莉咲	0				1
14	松本 彩花	0				
15	高木 穂波	3	1			
16	杉原 千晶	0				
17	垣添 優香	0				
18	片山 茜	0				
合計		76	7	24	7	9

チーム名						
那覇						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	具志堅 茅乃	2		1		3
5	喜納 璃理華	16		6	4	3
6	中山 美可子	18	2	6		
7	外間 瑞季	0				
8	湧上 麻乃	2		1		2
9	諸見田 ひかり	19	1	8		1
10	高野 真由	0				
11	喜屋武 桐子	0				
12	山川 美紅	8	2	1		3
13	谷口 なぎさ	0				
14		0				
15		0				
16		0				
17		0				
18		0				
合計		65	5	23	4	12

## ☆戦評

第1Q、両校ともハーフマンツーからディフェンスに入る。東筑紫は⑦高木の3P、④岩本のドライブ、那覇は④具志堅のドライブからのパスアウトなどで得点を狙うが、両校とも点数が伸びない。途中、那覇が攻撃のリズムをつかみはじめ、22-12で那覇10点リードで終了。

第2Q、東筑紫は⑧佐藤を経由したツーメンプレーが機能しだし、④岩本、⑦高木の得点が続く。一方、那覇はイージーシュートを外し、またチャージングを取られたりとオフェンスのリズムが狂い、東筑紫にじわじわと詰め寄られる。途中、那覇の選手の足が止まり、攻守ともにペースが上がらず。残り1分、逆転・再逆転となり、31-30で那覇1点リードで折り返す。

第3Q、両校ともシュートを打ちあうが、先手を取れない。那覇がエンドスローインからのナンバープレーで得点するも、その後は東筑紫の攻撃が立て続けに成功し、⑦高木の連続シュート、⑧佐藤のパスカットからの得点などにより主導権を握った。那覇は、攻撃が単調となり攻め手も見つからないまま、点差を広げられる。57-42で東筑紫15点リードで終了。

第4Q、那覇は④具志堅のドリブルからの攻撃などで仕掛けるものの、東筑紫のディフェンスを崩せず得点が思うように伸びない。最後、那覇の追い上げもあったが、76-65で東筑紫11点差で試合終了。

担当者(折尾 知之)